

西中の風

～継続と徹底～

伊丹市立西中学校長

大西 規之

今年の目標は決めましたか？

新しい年、そして3学期が始まりました。「1年の計は元旦に有り」とよく言われますが、正月に今年1年頑張る目標を立てましたか。どのような目標を立てたか、どのような気持ちで目標達成に臨むかが大切だと思います。2学期の終業式と3学期の始業式で私が話したことを載せたいと思います。

(1) 2学期終業式

ある雑誌の裏表紙に次のようなことが書かれていましたので紹介します。「何かをするにあたって、壁（困難）にぶち当たる度に表情を曇らせ、落ち込む人がある。その一方で、壁が立ちちはだかってもじたばたせず、乗り越えようと闘志を燃やす人もある。考えてみると自分が何かの夢の実現のために行動すれば、1度や2度、壁に邪魔されることは当然であろう。むしろ、もし何も障がいもなく夢が達成できるのであれば、それはもともと、夢に値しない、1つの願望に過ぎなかったのではないだろうか。

年の始め。自分の可能性を試すのが人生の目的だと思うなら、まず、大きな夢を持とう。同時に、その夢を邪魔する壁があるなら、望むところだかって来いと心得よう。これから遭遇するたくさんの壁。高いものもあれば、分厚いものもあろう。絶望を感じることもあるかもしれない。けれども、それらはいずれも人生の価値を高める演出の数々だと考えればよいのである。なぜなら、壁を越える度に、自分の可能性は劇的に広がるのだから。壁があるならそれもまたよし。じっくり見定めて、とにかく超えてみようという気概を大切にしたい」

簡単に言うと、「年の始めに、とにかく大きな夢を持つこと。夢を達成するにはいくつかの壁（困難）が必ずある。それを乗り越えるぞという強い気持ちを持ちなさい」ということです。3年生にとっての受験（受検）や進路も同じことだと思います。進路実現という大きな壁を乗り越える強い気持ちを持ち、冬休みから3学期を過ごすようにしてほしいものです。

いいクラスでいてください

(2) 3学期始業式

これから紹介するのは、1年前の学校だよりに

載せた内容です。この時期3年生にとっては大切なことですので、再度紹介したいと思います。

次に紹介するのは、愛知県のある中学校3年生の受験時期の出来事です。「1月末の水曜日のこと。なぜか窓から大声で「頑張れ！」って叫んでいる生徒がいたそうです。「誰に向かって叫んでいるんだろう」と思って、その生徒に尋ねると、「今頃、〇〇さんたちが推薦入試を受けているんです。私たちの声なんて聞こえないだろうけど、どうしても応援したくて」と話してくれました。その日の夕方でした。3年生を担当する先生に、「ちょっと来てください」と呼ばれて教室に行くと、一つの机を指差してこう言われたそうです。「何か書いてあるのでよく見たら、今日、推薦入試へ行っている子の机に素敵な落書きがしてあるんですよ。

『〇〇さん、頑張れ！』とか『お疲れ様でした。きっと大丈夫だよ』とか。机に落書きするのはダメだけど、これはぜひ本人に見せたいから、私は知らないことにします」とニクイ先生ですね。「私は知らないことにします」なんて。話はここで終わりません。昨日、推薦入試を受けて合格した人たちが、「帰りの会に少しだけ時間をください！」と担任の先生に頼みに来ました。何をするのかなんて見ていたら、「この前は、自分たちが受験のとき、応援してくれてありがとうございました。今度は僕たちがみんなを応援します！」と言った後、大きな声で、「みんな頑張れ！！ 頑張れ！！」とエールを送ったのでした。

「仲間を応援するため、机にメッセージを書くことも素敵。聞こえないのに大声で応援することも素敵。お礼にと、みんなにエールを返すのも素敵。そんな子供たちのやり取りを温かく見守る担任の先生も素敵」

これから、ますます受験（受検）に対する不安が大きくなっていくと思います。自分のことだけでなく、クラスメイトのことにも気づかなければなりません。互いにエールを送れるクラスでいてください。



photo.jp - 54767972

日々ホームページ更新中！！

